



# Weekly Report

## 名古屋みなと

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021~2022

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30  
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル  
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023  
 E-Mail office@portnagoya-rc.com  
 URL http://www.portnagoya-rc.com  
 会長 栢森 雅勝 幹事 岡田 雅  
 広報・雑誌・会報委員長 長瀬 廣幸

SERVE TO CHANGE LIVES. 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために R.I. 会長 シェカール・メータ



### 会長挨拶



### 臨時増刊号 2号

2021年(令和3年)9月3日(金)

会長 栢森 雅勝君

「三国志」今と、昔の現実についてお話ししたいと思います。三国志は人気のコンテンツ。今の三国志の基礎となったのは、1939年から1943年まで連載された吉川英治の「三国志」です。その後も三国志は人気コンテンツとして作り続けられています。

また、その日本での三国志人気の影響によって、今の中国でも三国志が人気になったという話も聞きます。



### 三国志という物語の始まり①

さて、日本に三国志が入ってきたのは、もちろん吉川英治が最初ではありません。日本に三国志演義が中国から入ってきたのは江戸時代。記録によると1604年に『通俗演義三国志』が読まれたという記録があります。三国志は江戸で人気となったようですが、最初に日本語訳が刊行されたのは1692年です。

その中国では『三国志演義』がもてはやされたのは明の初めだそうです(明:1368年~1644年)

### 三国志という物語の始まり②

三国志は「魏、呉、蜀」の三国が成立し、覇権を争っていた時代の物語ですが、漢が乱れた184年の黄巾の乱に始まり、280年に晋によって中国が統一されるまでの出来事に沿っています。つまり「三国志演義」は、歴史上の出来事から物語としてもてはやされるようになったのは、中国においてさえ1000年以上前の出来事なのです。

ちなみに、今から1000年前の日本は平安時代で権力をほしいままにした藤原道長が出家した頃です。だから、三国志演義に書かれている描写がどれだけ当時を正確に反映しているか???

### 三国志という物語の始まり③

三国志演義が書いたのが1000年以上前の物語であっても、もちろん元になる歴史書が中国にはあります。元の蜀の臣下であった陳寿が書いた「魏志」「蜀志」「呉志」であり、その成立は280年以後とされています。

※古代日本の女王 卑弥呼が治めるヤマタイコクが記載されているのが、この魏志の一部「魏志倭人伝」です。

### 三国志ゆかりの遺跡

日本と中国で人気の三国志ですが、歴史的な物となるとほとんど残っていません、まして登場人物ゆかりのものとなると… その一番大きな理由は、それが1800年も昔の出来事であったということでしょう。

三国志演義は人気になったことで、様々な絵画や関羽像などの創作物は多くあるのですが、それらの創作物は後世で作成されたものであり、必ずしも当時の現実を写し取ったものではありません。



※三国故事図 清時代 18-19世紀

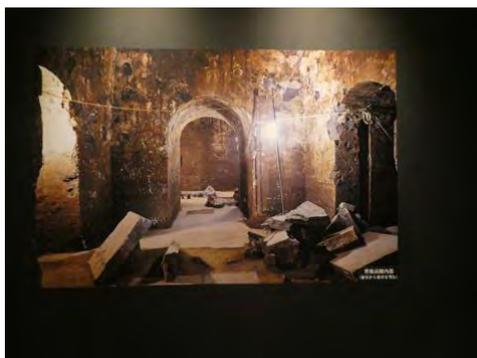
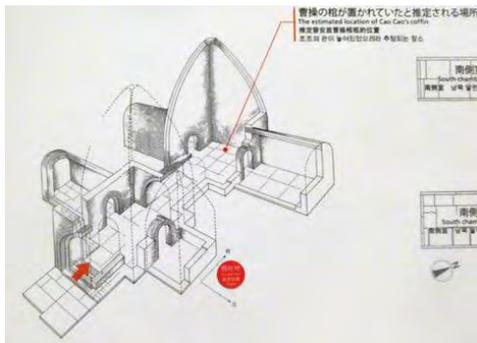
## 曹操の墓！

三国志ゆかりのものは、現実にはほとんど残っていない中、2008年に曹操の墓が発見されました。曹操は、三国志の主役です。魏を建国した人物の墓は、三国志の現実に思いをはせる一番大きな遺物です。発掘された曹操の墓を見ると、小さくて華美な墓ではなく、曹操の遺言通りに作られていたことがわかります。



## 曹操高陵

2008年から2009年にかけて、河南省安陽市で発掘された墓は西高穴2号墓と命名された。出土品は後漢から三国時代の過渡的な様相を呈し、墓の規模と構造は諸侯王に匹敵した。また、墓が築かれた場所は古記録にみる曹操高陵の所在地と同じであった。さらに副葬品には「魏武王」と記した石牌があった。魏武王とは曹操を指すことから、西高穴2号墓こそが稀代の英雄を葬った曹操高陵であることが確実となった。史書によると、曹操は後漢時代の最末期である220年正月に亡くなり、同年2月に魏の武王として葬られた。この年の10月、曹丕は漢にかわって魏を創建し、翌年には父・曹操を武皇帝とした。曹操夫人のベン氏は230年5月に亡くなり、同年7月に曹操高陵に合葬された。



いつか...

中国の史跡を訪ねる旅行もしたいですね。



## 幹事報告

岡田 雅君

コロナ禍で例会は休会ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。まだまだ油断のできない日々が続いておりますが、会員の皆様方におかれましては、健康に十分ご留意いただき、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

・9月のRIレートは、1ドル110円です。

## 委員会報告

広報・雑誌・会報委員長

長瀬 廣幸君

広報・雑誌・会報委員会の活動として、名古屋みなとロータリークラブのFacebookとInstagramを開設いたしましたのでお知らせいたします。例会の様子など様々な情報を発信して参りますので、ぜひフォローしてご活用ください。

【Facebook】

<https://www.facebook.com/Portnagoya-rc-108924778122482>

【Instagram】

<https://www.instagram.com/portnagoyarc/>

## 9月の誕生日祝福

3日 村田君夫人、4日 藤原君夫人、  
9日 市野君、11日 野崎君、  
12日 山田(胖)君、  
14日 橋本(修)君夫人、  
18日 芹澤君夫人、21日 長瀬君、  
24日 河野君夫人、30日 酒井君夫人

## 9月の結婚記念日祝福

3日 山田(胖)君、7日 神谷君、  
15日 藤掛君、18日 高田君、  
23日 高村君



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

Vol. 257

2021年8月13日発行

## 1. 熱海土石流災害義援金 — 台湾米山校友会 —

7月に発生した熱海市土石流災害への義援金として、台湾米山校友会から385,000台湾ドル（日本円で150万3,906円）を寄付していただきました。

RCを通じて同災害への義援金を送金したとのこと。台湾米山校友会から届く温かな支援に心から感謝を申し上げます。

この義援金は、日本政府が台湾へ提供したワクチンへの感謝の気持ちを込めて、熱海の被災者に役立てて欲しいと校友たちが出したもの。7月29日に台湾からいったん当会へ送金され、8月2日付で当会から国際ロータリー第2620地区の災害支援本部の口座へ振り込みました。また、これとは別に、複数の米山校友会が会員として所属する台中文心RCからも、日本の相模原中



熱海市土石流災害 義援金

## 2. 2022 学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学会委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で563校（前年度576校）。指定校からの被推薦者数は1,804人（同1,894人）で、この中から新規奨学生約600人が選ばれます。今回、初指定校は19校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、12

地区（同13地区）32校（同32校）となりました。各地区委員会では毎年、大学説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは8月6日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています。

## 3. 寄付金速報 — 2021-22年度のスタート —

2021-22年度の最初の月となる7月の寄付金は約2億1,000万円でした。前年度と比べて約7.02%減（普通寄付金：4.09%減、特別寄付金：13.9%減）、約1,600万円の減額となりました。

過去には2億円に満たなかった年度もあった中、このコロナ禍にも関わらず、ロータリアン

の皆さまから多額のご寄付をいただきまして誠にありがとうございました。米山記念奨学会事業は、日本のロータリーが世界に誇る「ロータリー-日本国内全地区合同プロジェクト」です。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 4. 2年ぶりの企業見学会 — 第2760地区 —



第2760地区（愛知県）の米山奨学会委員会は7月22日、地区内企業への見学会を2年ぶりに実施し、今年度奨学生と校友が参加しました。

地区米山記念奨学会委員長の大橋均氏によると、この企業見学会は同地区恒例行事の一つ。昨年は中止となり、今年も直前まで開催を迷いな

がらも、受け入れ企業側の協力を得て、午前3班、午後3班と計6班に分かれて工場や記念館、ショールームなどの構内施設見学会を行ったということです。「米山奨学生たちが目を輝かせて喜ぶ姿を見ると、やって良かった」と、大橋委員長は語りました。



## 5. オンラインで奨学生体験発表会 — 第2530地区 —

第2530地区（福島県）米山校友会が主催する「奨学生体験発表会」が7月31日、オンラインで開催され、奨学生と校友、ロータリアンら総勢約90人が参加しました。

当日は、志賀利彦ガバナー、武島昭良米山

奨学委員長、チンタカ・クマール同地区校友会会長、当会柚木裕子事務局長の挨拶につづき、奨学生がそれぞれ「奨学生生活を通じて身に付いたもの」、「日本人はなぜ麺をすすって食べるのか?」、「人工知能の現在と未来」

など思いのテーマで発表。校友からは自身の近況報告もあり、参加したロータリアンは興味深く耳を傾けました。

チンタカ会長は「今回は2年ぶりに、オンラインではありましたが、開催できて良かったと思います。いずれまた以前のように集まって、奨学生・校友が母国料理を作り、ロータリアンたちにふるまいながら交流の時間を過ごせるようになったら」と、話しました。



第3回米山校友会による世界大会「再会 in 関東」開催決定 / 日程：2023年8月5・6日 ※2年後です / 場所：茨城県つくば市 / 主催：関東10校友会 詳細が決まり次第、当会ホームページでお知らせしてまいります

月	日	今後の例会予定
9	3	例会変更 9/2 ガバナー公式訪問→延期
	10	休会
	17	休会
	24	休会
10	1	港友例会 「コスモス」
	8	休会
	15	例会変更 WFF 10/9 (土) →延期
	22	例会変更 家族旅行会 (大阪) 10/23-24
	29	卓話 「コスモス」

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/  
編集担当: 野津(のづ)・峯(みね)